

令和4年度 芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	Tutti 音楽Ⅱ（教育出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・音楽Ⅰで身に付けた音楽的基礎能力を土台にさらに個人の演奏能力を高め、音楽をより深く知り、味わってもらいたいです。
- ・音楽Ⅱの学習では、選択者のメンバーによるグループ演奏を中心に行います。何故その音が必要なのかなど音楽の仕組みをより深く知り、音楽Ⅰで身に付けた音楽的能力を応用し、みんなで音楽を創っていきましょう。その中で、協調性を養い、友達と音楽を創り上げていく喜びを体験してもらいたいです。
- ・高校の音楽の授業が、みなさんが生涯ずっと音楽を愛好し続けていくきっかけになればと思います。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・鑑賞の学習に取り組む。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図を持つ。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽の技能を身に付け、創造的に表現しようとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴く。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	よう イメージをもつて豊かな声で歌いあげ	【歌唱】 身体のウォーミングアップ 声のウォーミングアップ 瑠璃色の地球	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
1学期	ハーモニーを味わおう	合奏曲	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合奏に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合奏するために必要な演奏の技能を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2学期・ 3学期	バンドアンサンブルに挑戦しよう	【合奏】自由選択曲 アンサンブルの編曲法 音楽を形づくっている要素とお互いの働きをよく理解して編曲、演奏する。	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、お互いの働きをよく感受しつつ編曲して、演奏している。表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:曲想や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合奏するために必要な演奏の技能(姿勢や身体の使い方、奏法)を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3学期	オーケストラ曲に親しもう	鑑賞】 バレエ音楽 春の祭典(ストラヴィンスキー)	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

